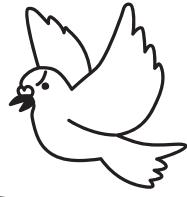


# 日本を「戦争する国」にさせない

安倍政権が「平和安全法制」の名で11本の法案を国会に提出し、激しい論戦が行われています。この中で憲法9条を全面的に

に破壊する戦争法案の3つの重大問題が浮き彫りになっています。



日本共産党

## ①後方支援 戦闘地域で米軍支援

戦争法案は、米国が世界のどこであれ、アフガン・イラク戦争のような戦争を起こした際、これまで政府が「戦闘地域」と呼んでいた場所まで自衛隊を派兵し、米軍への軍事支援をできるようにするものです。

政府のいう「後方支援」=弾薬・燃料の補給、武器・兵員の輸送、壊れた戦車の修理などは国際的には「兵たん」と呼ばれます。攻撃の一番の目標とされるのは軍事の常識。自衛隊が「兵たん」している場所が戦場になるのです。

## ②PKO法改定 「殺し、殺される」危険

この法案は、形式上「停戦合意」がされているが、なお戦乱が続いている地域に自衛隊を派兵。治安活動にとりくませ、任務遂行のための武器使用を認めるものです。

となり、2001年からの13年間で3500人もの戦死者が出ました。自衛隊員が「殺し、殺される」危険は格段に高まります。

自衛隊員は…  
自軍事支援をした

|      | 自殺者数           |
|------|----------------|
| アフガン | 27人(海自)        |
| イラク  | 21人(陸自)、8人(空自) |

米軍兵士は…60万人がPTSDに。  
1日平均22人 年間8000人が自殺

米国いいなりで9条破壊

戦争法案 3つの大問題

## ③集団的自衛権

# 米の無法な戦争に参戦

日本への武力攻撃がなくても、集団的自衛権を発動し、自衛隊が海外での武力行使に乗り出すことになります。

日本政府は、米国の無法な侵略戦争だったベトナム・イラク戦



争を支持しましたが、今なお誤りを認めず検証もしていません。

米国いいなりで無法な戦争に参戦・支援する—ここに集団的自衛権行使の一番の現実的危険があります。

国連での米国非難決議に日本政府は…

1983年

| グレナダ侵略<br>非難決議 | 賛成 | 108     |
|----------------|----|---------|
| 反対             | 9  |         |
| 棄権             | 27 | 日本は「棄権」 |

1986年

| リビア爆撃<br>非難決議 | 賛成 | 79      |
|---------------|----|---------|
| 反対            | 28 |         |
| 棄権            | 33 | 日本は「反対」 |

1989年

| パナマ侵略<br>非難決議 | 賛成 | 75      |
|---------------|----|---------|
| 反対            | 20 |         |
| 棄権            | 40 | 日本は「反対」 |

## 9条生かした平和の外交戦略を

### 「北東アジア平和協力構想」を提唱

いま必要なのは、憲法9条を生かした平和の外交戦略です。北東アジアには緊張や紛争の火種がありますが、それに軍事で構えたら、「軍事対軍事」の悪循環に陥るだけです。日本共産党は、東南アジアで実現している“紛争を話し合いで解決する枠組み”を北東アジアにも拡大する「北東アジア平和協力構想」を提唱しています。

日本共産党